

### 1. 大阪市中央区在宅医療連携拠点の取り組み

『中央区在宅あんしんマップ』にバリアフリー情報を掲載するための調査にご協力をお願いします。

誰もが安心して医科、歯科、薬局を利用できる中央区へ！

大阪市中央区では、病気になっても、住み慣れた地域で療養し、自分らしく安心して生活が続けられるように、医療・介護・福祉の関係機関が連携するしくみづくりがすすめられています。その事業の一環として『中央区 在宅あんしんマップ（大阪市中央区 発行）』が作成されています。

中央区の障がい者を支援する福祉関係機関と意見交換をおこなった中で、車いすを利用されている方が安心して医科、歯科、薬局を利用するために、「段差の有無」、「エレベーターの設置の有無」が必要な情報としてあげられました。

車いすを利用している中央区民が医科、歯科、薬局を訪れる際に困らないように、バリアフリーに関する情報をあんしんマップに反映させていきたいと考えています。

大阪市中央区保健福祉課と協議し、『令和 6 年度版 中央区在宅あんしんマップ』に掲載されている医科、歯科、薬局に対して、電話による聞き取り調査（一部ご訪問による調査）を実施しますので、ご協力を宜しくお願い致します。（拠点事業として掲載されていない施設にも調査させていただく予定です）

尚、調査結果については、本年度 2 月に発行される『令和 7 年度 中央区在宅あんしんマップ』に掲載予定です。

#### 【調査項目】

##### 段差

- ① 段差（階段）はありますか
- ② 段差の高さは何センチありますか

##### スロープ

- ③ スロープの幅は何 cm ありますか
- ④ スロープの傾斜は緩やかですか
- ⑤ スロープの形状は直線ですか
- ⑥ スロープに手すりがついていますか

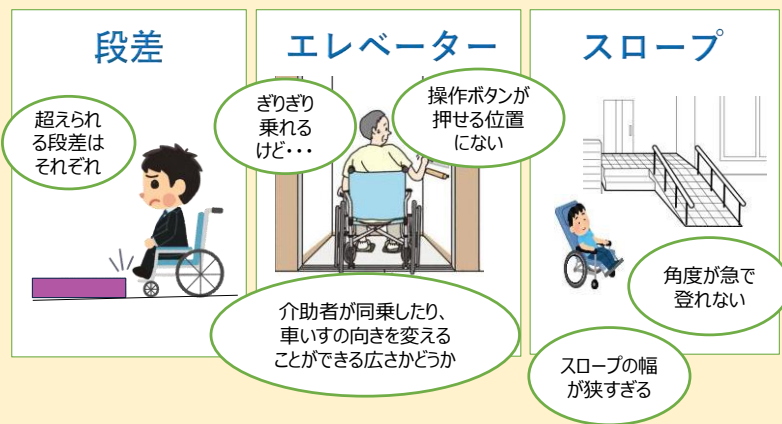
##### エレベーター（2 階以上）

- ⑦ エレベーターが設置されていますか
- ⑧ エレベーターの奥行きは 135 cm 以上ありますか
- ⑨ 介助者が同乗できる大きさですか
- ⑩ エレベーターの中に鏡が設置されていますか
- ⑪ 車いすに乗車したままボタンが押せる位置ですか

##### その他

- ⑫ 入口の広さは 90 cm 以上ありますか
- ⑬ 入口は自動扉になっていますか
- ⑭ 車いすの方が入ることができるトイレはありますか

- ◆ 1cm の段差も人によっては越えられないことがあります
- ◆ エレベーターや入口付近に十分なスペースがないと、車いすの向きを変えたり、介助者が同乗できないことがあります
- ◆ スロープが設置されていても、狭い、急斜面で登れないことがあります



段差、スロープ、エレベーター等に関する 14 項目についてご質問させていただきます。

## 2.中央区在宅医療会議の開催報告

### 今年度計画

- 1) 中央区の在宅医療 24 時間体制の構築
- 2) 同行訪問による研修の支援
- 3) 医療、介護、福祉の現場での多職種連携の支援

### ≪ 7月 23 日の会議報告 ≫

- 1) 中央区の在宅医療 24 時間体制の構築に向けてアンケートを実施します

今年度は、中央区の在宅医療を担う医療機関が急変時や不在時の対応に負担を感じる事についてアンケート調査を実施します。在宅医療において積極的な役割を担う医療機関がどのような支援体制を考え、整えていけばよいのか、アンケート結果をもとに体制づくりを検討していきたいと考えています。ご協力の程、宜しくお願い致します。

- 2) I C Tを用いた情報共有についての検討

現在、在宅医療の場面では様々な ICT ツールが活用されています。積極的な役割を担う医療機関に患者の緊急訪問を依頼する時に、I C T で連携することが不可欠であると思われるため、診療所間の I C T 連携の現状を把握し、緊急時の連絡対応や情報共有の在り方について検討していく必要があると考えています。今回の会議では、MCS 等のツールの使い方や利点について議意見交換を行いました。今後も議論し検討を重ねていく予定です。



### 新メンバーのご紹介 高津病院 川井医師



高津病院、理事長の川井です。この度、金先生からお声がけを頂き、「中央区の在宅医療において積極的な役割を担う医療機関」として連携に参入致しました。数年前より入院患者で退院後に通院困難なため訪問診療が必要かと思われる患者さまに対し行っております。多数の患者を訪問診療で診ることは当院からでは困難で、このように連携しつつ、また、当院の役割とし、入院が必要と判断されれば、積極的に受け入れる方針であります。

それぞれの特性を活かしつつ、地域の患者さまの医療に対する満足度の向上に努めて参ります。益々皆様のお力になれるよう尽力してまいります。宜しくお願い致します。

### \* 同行訪問による人材育成研修のご案内 \*

大阪市では2024年度「在宅医療連携拠点」の事業の一つに、在宅医療を担う医師の人材育成が掲げられています。将来の在宅医療を担う医師や医学部生に対する同行訪問による研修制度となっています。それぞれの研修目的に応じた相談が可能です。まずは、お気軽にご相談下さい。

- 対象者：大阪府内の医療機関に所属し、在宅医療の実施を検討している医師  
大阪府内の大学に所属し、将来在宅医療の実施を志す医学部生
- 研修日時：可能な限りご要望に沿って調整します。お気軽にご相談ください。
- 研修場所：在宅医療において積極的な役割を担う医療機関等
- 研修内容：ご希望に応じて調整します
  - ・新規開業を考えている医師の場合：在宅医療にかかる診療の基礎知識、応用、看取り等
  - ・特定分野のスキルアップをめざす医師の場合：特定分野のスキルアップ等
  - ・在宅医療の体験 等

≪ お問い合わせ先 ≫ 中央区在宅医療連携拠点

電話：080-8506-5119 (中西・久保)

[cyuo.z.kyoten@osaka-minami-med.or.jp](mailto:cyuo.z.kyoten@osaka-minami-med.or.jp)